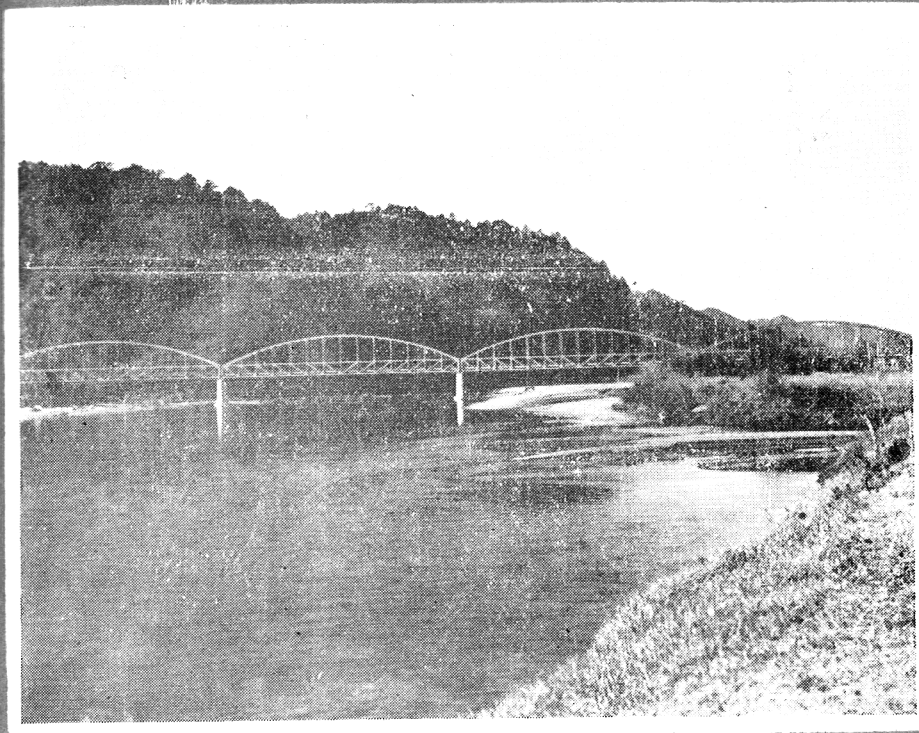


茨城調査時報



目次

新しい年を迎えて.....	1
昭和32年夏期農業基本調査結果の概要.....	3
紹介状況.....	14
農業対策事業就労状況.....	14
市町村の横顔.....	15
毎月勤労統計調査結果速報.....	17
人口世帯異動調査結果速報.....	21
生産動態調査.....	23
茨城県鉱工業生産指数(昭和32年8~10月).....	29
10年間を回顧して.....	31
統計用語の解説・編集室.....	32

1958.1



新年のごあいさつ

茨城県知事 友末 洋 治

新正年おめでとう存じます。

まずもつてみなさんが元気でお年月を迎えられたことを心から慶祝申し上げます。

昭和33年の初頭にあたり

ことしこそは

- 引続いて豊作となる年
- 関東平野の総合開発計画が新たに出発する年
- 道路は面目を一新する年
- 常磐線電化にとりかかる年
- 商港が初めてお目見えする年
- 原子力発電に目鼻がつく年
- 工業茨城の基本計画ができる年
- 新しい村づくり町づくりは軌道にのる年

などと、いぬ年に対する希望は、次から次へと数限りなく胸に浮んでまいります。

ともかくにも大いに馬力をかけて、よりよい年にしたいと心から念じております。

御承知のように、世界のどの国も、自国の平和と安全を守るために、力の限りを尽して、科学技術の進歩に必死の努力を続けております。世はまさに、科学文明飛躍の時代に、驚くべき速度をもつて突入しております。この世界の進運に対処して、わが日本民族の幸福と繁栄とを増大していくためには、民族の一大結集のうえに科学技術の裏づけが、何よりも必要になっております。

福祉茨城の振興にもまた、科学技術の太い筋金を入れなければならなくなつてまいりました。

ここに、希望と飛躍の年を迎えるにあたり、県民の皆さんの幸福と繁栄とを衷心お祈りして新年のごあいさついたします。

昭和33年元旦



新しい年を迎えて

茨城県統計協会会長
茨城県総務部長 木村 凡夫

明けましておめでとうございます。

ここに明るい希望に満ちた平和な昭和33年の初春を迎え、皆様の御幸福を心からお喜び申し上げます。

さて、昨年は3年に1度行われる事業所調査をはじめ、学校基本調査、農業基本調査、工業統計調査、中小企業総合基本調査、その他各種の調査が実施されましたが、統計関係の皆様には諸種の困難な条件をよく克服して、特別の御精励と御協力をいただき、ここに優秀な実績を取めることができましたことを心からお礼申し上げます。

また、昨年は統計法が施行されて丁度10周年を迎えましたが、終戦後制度および技術の両面において著しい進歩を遂げた調査統計事業の輝かしい足跡を顧み、まことに感慨無量なものがあります。そもそも統計法は統計の真実性を確保し、統計調査の重複を除き、統計の体系を整備して統計制度の改善発達を図るために制定されたもので、統計行政の基本法であり、わが国における統計事業の発展の歴史もまた統計法とともに歩んできたといつても過言ではありません。

すなわち過去10年の間、中央、地方を通ずる統計機構の整備、統計の正確度の向上、統計理論とその応用の進歩、あるいは学校および企業経営における統計利用の普及はまことにめざましいものがあり、各種行政施策の樹立推進と国民生活水準の向上のために、大きな役割を果たしてまいりました。しかし地方自治体における調査統計事業と統計の利用価値に対して、まだまだ軽視の風潮が残っていることはまことに遺憾であり、新市町村建設計画や新農山漁村振興計画の遂行にも大きな支障をきたすのではないかと思います。

どうか皆様には今後も調査統計事業はあくまでも地方自治体における行政施策の基礎資料を作成する重要な使命と責任を持つていることをよく自覚して、常に統計機構の拡充強化と調査技術の研さんに努め、統計が政治、経済、社会の各般におよぼす影響が非常に大きいことを再認識されて、相互に融和協調の実をあげ、統計思想の普及と統計の質の向上を計り、本県における調査統計事業の円滑な運営と発展のために御尽力下さるようお願い申し上げます。

夏期農業基本調査結果の概要

(昭和32年8月1日調査)

昭和32年8月夏期農業基本調査を実施したが、各項目ごとの結果概要は次のとおりである。

1. 農業事業体数について

本県の農業は211,837戸の農家と、274戸のその他の農業事業体によつて営まれている。次表は過去5カ年の比較を示す。

年 度	農 家	指 数	その他の農業事業体	指 数
昭 和 28 年	212,638	100	319	100
〃 29 年	212,551	99.9	293	91.5
〃 30 年	213,243	100.3	274	85.7
〃 31 年	212,691	100	268	84.0
〃 32 年	211,837	99.6	274	85.7

指数は昭和28年夏期調査を100とした。

2. 自小作別農業事業体数について

この調査では自作農132,139戸(総農家数の62.4%)自作兼小作農60,909戸、(28.8%)小作兼自作農11,433戸(5.4%)小作農7,276戸(3.4%)、その他80戸(0.0%)となり、所有地が経営耕地面積の5割以上の農家(自作、自作兼小作農)は193,048戸で総農家数の91.1%となる。これを前年同期調査と比較すると自作農1%減自作兼小作農1%増小作農0.9%減小作農0.9%減となり、小自作、小作農家が減少している。次表は過去5カ年の比較を示す。

年 度	自 作 農		自 小 作 農		小 自 作 農		小 作 農		そ の 他	
	農家数	指数	農家数	指数	農家数	指数	農家数	指数	農家数	指数
28 年	122,177	100.0	66,613	100.0	13,886	100.0	9,849	100.0	11,433	100.0
29 年	125,526	102.7	63,956	96.0	13,552	97.6	9,407	95.5	11,000	95.4
30 年	127,283	104.2	64,520	96.9	12,722	91.6	8,600	87.3	11,500	101.5
31 年	133,214	109.0	59,754	89.7	11,919	85.8	7,729	78.5	7,500	65.7
32 年	132,139	108.2	60,909	91.4	11,433	82.3	7,276	73.9	8,000	69.9

経営耕地面積広狭別農業事業体数

	総 数	農 家							そ の 他 農業事業体
		総 数	自 小 作 別					そ の 他	
			自 作	自小作	小自作	小 作	そ の 他		
総 数	212,111	211,837	132,139	60,909	11,433	7,276	80		
経営耕地面積広狭別	5畝～1反	4,166	4,129	2,536	223	221	1,141	8	
	1反～3反	26,082	25,939	16,231	3,769	2,111	3,790	38	
	3反～5反	26,199	26,169	15,700	6,450	2,631	1,380	8	
	5反～1町	62,180	62,164	35,726	21,257	4,429	745	7	
	1町～1.5町	53,259	53,255	32,947	18,569	1,572	149	18	
	1.5町～2町	28,530	28,528	19,704	8,354	414	55	1	
	2町～3町	11,018	11,011	8,717	2,225	53	16	—	
	3町以上	677	642	578	62	2	—	—	

兼業別農家数について

農家の専業兼業別構成をみると、専業農家は141,047戸（総農家数の66.6%）兼業農家は70,790戸（33.4%）で、このうち第一種兼業農家は36,661戸（兼業農家の51.8%）第二種兼業農家は34,129戸（48.2%）となっている。
 耕作地面積広狭別にみると専業農家は、1町～1.5町の45,698戸（32.4%）5反～1町の41,804戸（29.6%）が最も多く、前年同期調査と大差がない。

耕作地面積広狭別専業兼業別農家数

	総農家数	専業兼業別農家数			
		専業農家数	兼業農家数		
			総数	第一種兼業	第二種兼業
数	211,837	141,047	70,790	36,661	34,129
5反～1反	4,129	416	3,713	305	3,408
1反～3反	25,939	5,890	20,049	4,330	15,719
3反～5反	26,169	10,356	15,813	7,098	8,715
5反～1町	62,164	41,804	20,360	14,983	5,377
1町～1.5町	53,255	45,698	7,557	6,817	740
1.5町～2町	28,528	25,984	2,544	2,406	138
2町～3町	11,011	10,301	710	681	29
3町以上	642	598	44	41	3

	総農家数	専業兼業別農家数				その他の農業事業体
		専業農家数	兼業農家数			
			総数	第一種兼業	第二種兼業	
数	211,837	141,047	70,790	36,661	34,129	274
計	52,989	30,401	22,588	10,120	12,468	62
戸市	5,760	8,084	2,676	1,169	1,507	5
立市	5,094	1,475	3,619	996	2,623	5
浦市	3,901	2,740	1,161	545	616	1
河市	962	455	507	233	274	1
岡市	2,742	1,812	930	472	458	2
館市	4,455	3,146	1,309	693	616	12
城市	3,434	2,609	825	453	372	4
ヶ崎市	3,511	2,391	1,120	440	680	15
珂湊市	2,340	561	1,779	262	1,517	—
妻市	3,345	2,608	737	292	445	—
海道市	4,313	3,199	1,114	601	513	2
窪太田市	4,682	2,193	2,489	1,540	949	8
田市	3,141	2,237	904	581	323	4
萩市	1,774	706	1,068	656	412	1
北茨城市	3,535	1,185	2,350	1,187	1,163	2

	総農家数	専業兼業別農家数				その他の農業事業者
		専業農家数	兼業農家数			
			総数	第一種兼業	第二種兼業	
郡計	158,848	110,646	48,202	26,541	21,661	212
東茨城郡	19,100	13,492	5,648	3,338	2,310	30
西茨城郡	10,877	6,512	4,365	2,560	1,805	12
那珂郡	14,997	8,256	6,741	3,847	2,894	14
久慈郡	9,707	5,606	4,101	2,649	1,452	12
多賀郡	945	271	674	349	325	2
鹿島郡	14,378	10,433	3,945	2,229	1,716	19
行方郡	9,485	6,666	2,819	1,586	1,233	12
稲敷郡	15,473	11,868	3,605	1,816	1,789	44
新治郡	12,984	9,768	3,216	1,896	1,320	19
筑波郡	12,880	9,592	3,288	1,395	1,893	11
真壁郡	9,795	6,797	2,998	1,614	1,384	14
結城郡	6,983	5,356	1,627	764	863	4
猿島郡	15,404	12,305	3,099	1,568	1,531	11
北相馬郡	5,840	3,764	2,076	930	1,146	1

経営耕地面積広狭別第一種兼業種類別農家数

	総数	農業	林業 狩猟	漁業		建設業	製造業	
				水産	養殖業			
総数	36,661	3,439	2,795	1,707	958	4,244	4,542	
経営耕地面積 広狭別	5畝～1反	305	74	13	11	8	20	2
	1反～3反	4,330	741	368	248	134	472	47
	3反～5反	7,098	824	647	238	203	848	92
	5反～1町	14,983	1,049	1,345	673	448	1,985	2,100
	1町～1.5町	6,817	528	338	338	141	707	311
	1.5町～2町	2,406	173	75	122	20	170	100
	2町～3町	681	45	8	24	4	41	30
3町以上	41	5	1	3	—	1	10	

業	金融業	不動産業	運輸業	電気、ガス業	サービス業	公務
4,734	547	29	2,381	396	5,269	5,313
44	2	—	8	2	45	42
632	31	1	182	28	615	404
1,012	74	11	411	80	1,008	763
1,833	181	7	1,025	171	2,054	2,112
840	170	8	501	72	1,011	1,251
281	65	2	200	27	413	560
88	22	—	51	15	118	174
4	2	—	3	1	5	6

経営耕地面積広狭別第二種兼業種類別農家数

	総数	農業	林業	漁業	鉱業	建設業	製造業
数	34,129	913	799	1,983	721	3,313	4,986
5畝～1反	3,408	143	105	342	68	354	463
1反～3反	15,719	436	388	1,089	354	1,518	2,278
3反～5反	8,715	189	196	377	200	829	1,245
5反～1町	5,377	118	98	160	94	532	871
1町～1.5町	740	23	9	12	5	55	102
1.5町～2町	138	4	1	2	—	21	23
2町～3町	29	—	2	1	—	3	3
3町以上	3	—	—	—	—	1	1

業	金融業	不動産業	運輸業	電気、ガス業	サービス業	公務
7,330	486	38	2,465	357	5,120	5,678
775	28	6	175	30	465	454
3,592	211	14	1,088	154	2,370	2,227
1,810	145	9	707	97	1,325	1,586
1,019	80	8	430	62	819	1,086
112	16	1	53	11	120	221
16	4	—	9	2	18	38
5	2	—	3	1	3	6
1	—	—	—	—	—	—

4. 農家人口について

本県の農家人口は、1,283,952人で総人口の61.7%となる。性別にみると男622,411人(48.5%)、女661,541人(51.5%)で女の方が39,130人多くなっている。前年同期調査より13,856人(1.0%)減じている。農家人口のうち長年農業者は8,021人(農家人口の0.6%)となる。

次表は過去5カ年の比較を示す。

	総 数	指 数	男	女	うち農業常雇者(住込み)			うち農業常雇者(かまき)		
					総 数	男	女	総 数	男	女
昭和28年	1,314,500	100.0	643,575	670,925	—	—	—	—	—	—
// 29年	1,312,529	99.8	642,412	670,117	—	—	—	—	—	—
// 30年	1,315,364	100.1	642,549	672,815	—	—	—	—	—	—
// 31年	1,297,308	98.7	631,391	665,917	—	—	—	—	—	—
// 32年	1,283,952	97.7	622,411	661,541	6,099	3,050	3,049	1,922	1,109	—

指数は昭和28年を100とした

5. 経営耕地面積について

本県農家で経営している耕地面積は204,565町歩で田は91,324町歩、畑は113,241町歩となつている一農家当りの面積は9反6畝で、うち田は4反3畝、畑は5反3畝の割合になつている。畑の利用形態別にみると普通畑102,442町歩(91.7%)その他の畑442町歩(3.9%)樹園地8,965町歩(7.9%)となる。耕地の所謂関係をみると所有地182,277町歩(89.1%)借入地22,183町歩(10.8%)その他135町歩(0.1%)これを前年同期調査と比較すると所有地177,972町歩増、借入地40町歩減、その他6町歩増となつている。

次表は過去5カ年の比較を示す。

	総 数		所 有 地		借 入 地		そ の 他	
	面 積	指 数	面 積	指 数	面 積	指 数	面 積	指 数
昭和28年	201,462.9723	100.0	175,735.8616	100.0	25,408.8426	100.0	318.2614	100.0
// 29年	202,312.4028	100.4	177,972.1021	101.3	24,195.8108	95.2	144.4829	45.1
// 30年	204,215.1116	101.4	179,658.3425	102.2	24,321.2722	95.3	235.4829	74.0
// 31年	204,403.4207	101.5	182,050.0412	103.6	22,223.6023	87.5	129.7627	40.8
// 32年	204,565.4110	101.5	182,247.3726	103.7	22,183.3812	87.3	134.6502	42.3

指数は昭和28年を100とした

経営耕地面積広狭別、所有地借入地別耕地面積

	農家数	総数	所有地	借入地	その他
数	212,111	204,565.4110	182,247.3726	22,183.3812	134.6502
農家計	211,837	203,761.9528	181,941.7821	21,686.1505	134.0202
5畝～1反	4,129	302.6002	198.3204	103.7111	0.5617
1反～3反	25,939	5,085.1017	3,817.2925	1,263.5708	4.2314
3反～5反	26,169	10,331.0318	8,286.8524	2,019.6925	24.4729
5反～1町	62,164	46,252.2206	39,492.4523	6,726.8212	32.9401
1町～1.5町	53,255	65,602.1024	58,763.9504	6,794.0500	44.1020
1.5町～2町	28,528	48,554.6510	44,999.7108	3,536.3716	18.5616
2町～3町	11,011	25,421.2320	24,214.5421	1,199.3804	7.3025
3町以上	642	2,212.9921	2,168.6402	42.5319	1.8200
他の農業事業体	274	803.4512	305.5905	497.2307	0.6300

経営耕地面積広狭別田、畑別耕地面積

	総数	田 (畦畔を含む)	畑	
			普通畑	その他の畑
数	204,565.4110	91,324.0616	103,833.6522	442.3612
農家計	203,761.9528	90,830.1517	103,601.1625	406.2316
5畝～1反	302.6002	78.3124	219.6025	1.9701
1反～3反	5,085.1017	2,264.6505	2,750.0717	13.0813
3反～5反	10,331.0318	4,848.9304	5,291.4902	29.1707
5反～1町	46,252.2206	20,793.4912	24,342.7612	89.6325
1町～1.5町	65,602.1024	28,845.4616	34,087.5100	119.3729
1.5町～2町	48,554.5510	21,447.4625	24,142.4220	97.0729
2町～3町	25,421.2320	11,672.9008	11,814.5202	46.3717
3町以上	2,212.9921	878.9213	952.7707	9.5315
その他の農業事業体	803.4512	493.9029	232.4827	36.1226

	総数	園			その他の樹園地
		果樹園	茶園	桑園	
数	2,009.2904	714.0701	5,580.3800	661.5815	
農家計	1,987.2520	709.1111	5,570.9802	657.0427	
5畝～1反	0.5915	0.8900	0.5402	0.6725	
1反～3反	10.0907	13.7019	21.4413	12.0503	
3反～5反	36.2016	31.7016	67.7727	25.7506	
5反～1町	181.5429	163.7211	589.7603	91.2904	
1町～1.5町	431.3603	224.1821	1,752.4522	141.7423	
1.5町～2町	519.9724	168.1227	1,975.2003	204.3702	
2町～3町	575.2609	90.3613	1,076.4429	145.3602	
3町以上	232.2107	16.4024	87.3423	35.7922	
その他の農業事業体	22.0314	4.9520	9.3928	4.5318	

6. 水稻の作付面積について

本県田の耕地面積は91,324町歩で、うち水稻の作付面積は90,816町歩(99.4%)で水稻以外は、はす田、作付不陸畔、その他で508町歩となっている。作付面積の内訳はうるち85,517町歩(94.2%)、もち5,299町歩(5.8%)で、耕作者数は187,381戸で、1戸当りの作付面積は4反8畝となる。これを前年同期調査と比較すると166町歩増加し、耕作者数は659戸減少した。

陸稻の作付面積について

陸稻の作付面積は19,296町歩で畑の作付面積の18.5%にあたる。作付面積の内訳はうるち6,969町歩(36.1%)、もち12,327町歩(63.9%)となり耕作者数は125,171戸で1戸当りの作付面積は1反5畝となり作付面積は前年同期調査より2,003町歩減少した。

次表は過去5カ年の比較を示す。

	水 稻		陸 稻	
	作 付 面 積	指 数	作 付 面 積	指 数
昭 和 28 年	89,184	100.0	16,191	100.0
〃 29 年	89,291	100.1	17,569	108.5
〃 30 年	89,967	100.9	19,295	119.2
〃 31 年	90,650	101.6	21,299	131.5
〃 32 年	90,816	101.8	19,296	119.2

	水 稻		陸 稻	
	う る ち	も ち	う る ち	も ち
	作 付 面 積	作 付 面 積	作 付 面 積	作 付 面 積
昭 和 31 年	85,269.7702町	5,380.9617町	9,204.2906町	12,095.222町
〃 32 年	85,516.8322町	5,298.9321町	6,968.6417町	12,326.222町
増 減	247.0620	△ 82.0226	△ 2,235.6419	231.690町

△印は減を示す

水稻、陸稻作付面積

(市 郡 別)

	水 稻		陸 稻	
	耕 作 者 数	作 付 面 積	耕 作 者 数	作 付 面 積
総 数	187,381戸	21,940.8228町	125,171戸	19,295.5町
市 計	46,035	90,815.7713	29,057	4,159.88町
水 戸 市	4,492	1,353.4428	4,190	832.4町
日 立 市	3,564	967.4736	2,692	150.3町
土 浦 市	3,483	1,814.2728	1,026	102.9町
古 河 市	785	246.3827	902	206.7町
石 岡 市	2,419	1,209.9818	1,436	169.3町
下 館 市	4,296	3,432.3218	3,604	576.6町

	水 稲		陸 稲	
	耕 作 者 数	作 付 面 積	耕 作 者 数	作 付 面 積
	戸	町	戸	町
宇 城 市	3,095	1,359.5824	3,277	858.3718
電 ヶ 崎 市	3,376	2,476.3517	1,514	154.0617
那 珂 湊 市	1,173	269.9514	232	7.5507
下 妻 市	3,111	1,612.5515	2,862	457.1521
水 海 道 市	4,030	1,979.1809	3,423	364.3708
霧 陸 太 田 市	4,426	1,986.1211	1,133	47.8006
香 田 市	2,704	872.0910	1,402	157.5401
高 萩 市	1,775	821.7522	422	32.0505
北 茨 城 市	3,306	1,539.3101	942	41.1508
都 計	141,346	68,874.9415	96,114	15,135.6914
東 茨 城 郡	15,577	6,441.7825	13,540	2,177.4013
西 茨 城 郡	10,007	4,714.6501	8,362	1,015.8607
那 珂 郡	13,090	4,011.2806	11,326	1,508.5010
久 慈 郡	8,275	2,993.1701	4,017	176.0126
多 賀 郡	916	428.4608	453	27.7427
鹿 島 郡	12,141	5,455.8808	5,063	811.8923
行 方 郡	8,723	5,364.5612	1,929	272.6614
龍 敷 郡	14,419	11,042.8512	4,976	523.0313
新 治 郡	11,887	5,902.3501	5,663	616.0019
荒 波 郡	12,037	6,576.4103	9,454	1,685.5129
真 壁 郡	8,836	4,737.1613	7,048	1,370.9208
宇 城 郡	6,457	2,834.2511	6,250	1,156.4227
鹿 島 郡	13,517	4,479.0022	14,567	3,428.8308
北 相 馬 郡	5,464	3,893.1002	3,466	364.8500

2 夏作物の作付面積について

本県夏作物の総作付面積は103,079町歩（総耕地面積の98.8%）で、うち作付面積の2,000町歩以上のものは、とうもろこし4,840町歩（4.7%）、大豆12,968町歩（12.6%）、あずき3,634町歩（3.5%）、さつまいも25,463町歩（24.7%）、さといも2,061町歩（2.0%）、らつかせい7,507町歩（7.3%）等である、本県の特産たる葉たばこは7,262町歩（7.0%）前年より149町歩減じている。

表は種類別作付面積の比較を示す。

	あ わ		も ろ こ し		夏 そ ば		そ の 他 の 雑 穀	
	耕作者数	作付面積	耕作者数	作付面積	耕作者数	作付面積	耕作者数	作付面積
昭和 32 年	戸 34,220	町 981.6316	戸 10,443	町 224.7625	戸 5,649	町 179.1916	戸 14,486	町 390.9305
〃 31 年	40,034	1,166.8409	11,476	250.4800	6,213	234.7913	15,860	383.1810
比 較	△ 5,814	△ 185.2023	△ 1,033	△ 25.7105	△ 564	△ 55.5927	△ 1,374	△ 7.7425

	と う も ろ こ し						雑 穀 の 計	
	乾 燥 種 実 用		未 成 熟 食 用		青 刈 飼 料 用		耕作者数	作付面積
	耕作者数	作付面積	耕作者数	作付面積	耕作者数	作付面積		
昭和 32 年	戸 63,722	町 3,367.1103	戸 93,383	町 1,472.5221	戸 6,969	町 473.5314	戸 128,520	町 5,143.6405
〃 31 年	62,953	3,043.8525	88,730	1,362.9120	5,319	335.1110	136,536	5,079.1527
比 較	769	323.2508	4,653	109.6101	1,650	138.4204	△ 8,016	△ 64.4878

	秋そば作付予定地		大 豆					
	秋そば作付予定地		乾 燥 種 実 用		未 成 熟 食 用		青 刈 飼 料 用	
	耕作者数	作付面積	耕作者数	作付面積	耕作者数	作付面積	耕作者数	作付面積
昭和 32 年	戸 27,145	町 1,989.2621	戸 146,409	町 12,689.0606	戸 7,008	町 279.4117	戸 1,596	町 80.7802
〃 31 年	29,348	2,011.2911	154,955	13,731.4200	6,639	268.2200	1,501	73.6902
比 較	△ 2,203	△ 22.0220	△ 8,546	△ 1,042.3524	△ 369	△ 11.1917	△ 95	△ 7.1800

	あ ず き		そ の 他 の 豆 類		豆 類 の 計		さ つ ま い も	
	耕作者数	作付面積	耕作者数	作付面積	耕作者数	作付面積	耕作者数	作付面積
昭和 32 年	戸 144,907	町 3,633.8004	戸 66,890	町 1,047.8108	戸 357,706	町 17,370.6718	戸 189,821	町 25,462.5700
〃 31 年	146,011	3,421.5727	68,009	1,126.2512	368,975	18,279.2509	189,859	26,031.5500
比 較	△ 1,104	△ 212.2207	△ 1,619	△ 78.4404	△ 11,269	△ 908.5821	△ 38	△ 568.4200

	な す		と ま と		き う り		し ろ う り	
	耕作者数	作付面積	耕作者数	作付面積	耕作者数	作付面積	耕作者数	作付面積
昭和 32 年	戸 162,775	町 1,454.5406	戸 36,601	町 370.2616	戸 121,696	町 1,029.7615	戸 17,663	町 162.4500
〃 31 年	163,137	1,437.4010	44,700	390.1112	113,494	958.4715	17,963	209.4500
比 較	△ 362	△ 17.1326	△ 8,099	△ 19.8426	△ 8,202	△ 71.2900	△ 300	△ 46.0000

△印は減を示す

	かぼちや		すいか		ゆうがお		その他の果菜類	
	耕作者数	作付面積	耕作者数	作付面積	耕作者数	作付面積	耕作者数	作付面積
昭和32年	66,719 ^戸	965.7814 ^町	40,477 ^戸	1,981.3425 ^町	5,845 ^戸	295.8119 ^町	17,690 ^戸	281.3102 ^町
31年	65,484 ^戸	985.2426 ^町	35,783 ^戸	1,401.3725 ^町	5,011 ^戸	259.5017 ^町	21,660 ^戸	372.6205 ^町
比較	△ 1,285 ^戸	△ 19.4612 ^町	4,694 ^戸	579.9700 ^町	834 ^戸	36.3102 ^町	△ 3,970 ^戸	△ 91.3103 ^町

	果菜類の計		さといも		夏だいこん		かぶ	
	耕作者数	作付面積	耕作者数	作付面積	耕作者数	作付面積	耕作者数	作付面積
昭和32年	469,466 ^戸	6,541.2023 ^町	135,488 ^戸	2,061.3714 ^町	21,905 ^戸	228.4314 ^町	7,196 ^戸	54.7205 ^町
31年	477,233 ^戸	5,963.7923 ^町	139,699 ^戸	2,100.3105 ^町	22,454 ^戸	229.5513 ^町	— ^戸	— ^町
比較	△ 7,767 ^戸	577.4025 ^町	△ 4,261 ^戸	△ 38.9321 ^町	△ 549 ^戸	△ 1.1129 ^町	— ^戸	— ^町

	ごぼう		にんじん		れんこん		しょうが	
	耕作者数	作付面積	耕作者数	作付面積	耕作者数	作付面積	耕作者数	作付面積
昭和32年	118,463 ^戸	1,290.4324 ^町	101,441 ^戸	769.1823 ^町	1,258 ^戸	150.4607 ^町	24,875 ^戸	261.2922 ^町
31年	117,454 ^戸	1,156.3800 ^町	105,714 ^戸	747.5318 ^町	1,211 ^戸	143.0315 ^町	— ^戸	— ^町
比較	1,009 ^戸	134.0524 ^町	△ 4,273 ^戸	21.6505 ^町	47 ^戸	7.4222 ^町	— ^戸	— ^町

	その他の根菜類		根菜類の計		ねぎ		その他の葉茎菜類	
	耕作者数	作付面積	耕作者数	作付面積	耕作者数	作付面積	耕作者数	作付面積
昭和32年	20,467 ^戸	366.3601 ^町	431,043 ^戸	5,182.2720 ^町	113,350 ^戸	1,146.8217 ^町	17,996 ^戸	258.9606 ^町
31年	25,214 ^戸	396.4325 ^町	411,746 ^戸	4,773.2516 ^町	118,614 ^戸	1,132.3404 ^町	22,145 ^戸	299.1224 ^町
比較	△ 4,747 ^戸	△ 30.0724 ^町	19,297 ^戸	409.0204 ^町	△ 5,264 ^戸	14.4813 ^町	△ 4,149 ^戸	△ 40.1618 ^町

	葉茎菜類の計		らつかせい		とうがらし		ごま	
	耕作者数	作付面積	耕作者数	作付面積	耕作者数	作付面積	耕作者数	作付面積
昭和32年	131,346 ^戸	1,405.7823 ^町	86,760 ^戸	7,507.1224 ^町	23,828 ^戸	811.5424 ^町	71,317 ^戸	1,128.5106 ^町
31年	140,759 ^戸	1,431.4628 ^町	79,697 ^戸	5,415.8521 ^町	— ^戸	— ^町	77,324 ^戸	1,256.8012 ^町
比較	△ 9,413 ^戸	△ 25.6805 ^町	7,063 ^戸	2,091.2703 ^町	— ^戸	— ^町	△ 6,007 ^戸	△ 128.2906 ^町

△印は減を示す

	わ た		た ば こ		ラ ミ ー (ちよま)		薬 草 類	
	耕作者数	作付面積	耕作者数	作付面積	耕作者数	作付面積	耕作者数	作付面積
昭和 32 年	戸 7,091	町 172.1327	戸 39,290	町 7,262.1101	戸 130	町 10.5618	戸 209	町 13.4077
〃 31 年	8,904	221.5711	39,725	7,411.4603	128	13.9210	249	14.3124
比 較	△ 1,813△	49.4314△	435△	149.3502	2△	3.3522△	40△	0.9053

	こんにやくいも		その他の工芸作物		工芸作物の計		青刈飼料用作物	
	耕作者数	作付面積	耕作者数	作付面積	耕作者数	作付面積	耕作者数	作付面積
昭和 32 年	戸 6,494	町 311.4313	戸 11,419	町 934.3024	戸 246,538	町 18,201.1514	戸 3,145	町 136.3007
〃 31 年	—	—	12,373	934.0617	218,400	15,268.0008	1,285	77.2000
比 較	—	—	954	50.2407	28,138	2,933.1506	1,860	59.0703

	青刈飼料用作物の計		牧 草 類		苗 木 類		その他の夏作物	
	耕作者数	作付面積	耕作者数	作付面積	耕作者数	作付面積	耕作者数	作付面積
昭和 32 年	戸 11,710	町 690.6123	戸 2,504	町 197.4100	戸 2,786	町 386.7615	戸 42,213	町 1,448.9425
〃 31 年	8,105	485.9414	998	94.9610	2,733	366.8918	33,576	1,505.8100
比 較	3,605	204.6709	1,506	102.4420	53	19.8627	8,637△	56.8025

表中 △印は減を示す

- ◎注 雑 穀 あわ、もろこし、夏そば、とうもろこし（乾燥種実用のみ）その他の雑穀
- 豆 類 大豆（乾燥種実用のみ）あづき、その他の豆類
- 果 菜 類 なす、とまと、きゅうり、しろうり、かぼちや、すいか、ゆうがおその他の果菜類
- 根 菜 類 さといも、夏だいこん、かぶ、ごぼう、にんじん、れんこん、しょうが、その他の根菜類
- 葉 茎 菜 類 ねぎ、その他の葉茎菜類
- 工 芸 作 物 らつかせい、とうがらし、ごま、わた、たばこ、ラミー（ちよま）、薬草類、こんにやくいも
その他の工芸作物

職 業 紹 介 状 況 (民生労働部職業安定課調)

月 別	一 般				日 雇 (延)								
	新 規 求 求 入	有 効 新 規 求 求 職	有 効 前 月 求 求 職 者 数	有 効 月 間 求 求 職 者 数	紹 介	就 職	有 効 月 間 求 求 職 者 数 対 する 就 職 率	求 入	求 職	紹 介	就 職	あ ぶ れ	就 職 率
昭 和 30 年	33,077	44,741	—	—	35,471	28,878	—	755,389	859,946	752,061	745,775	114,251	86.7
昭 和 31 年	50,284	55,876	—	—	50,277	39,400	—	759,630	784,521	756,114	747,175	47,617	95.2
1 月	7,978	10,278	5,523	15,801	4,985	3,182	20.1	68,428	71,455	68,206	67,775	857	94.8
2 月	4,033	4,108	11,325	15,433	6,688	4,827	31.8	74,678	77,655	74,524	73,922	2,834	95.2
3 月	3,269	3,976	9,293	13,269	5,359	4,579	34.6	85,511	87,555	85,339	84,761	750	96.8
4 月	3,935	4,068	7,198	11,266	3,836	3,057	27.1	55,466	59,195	55,288	55,239	5,688	93.3
5 月	3,965	4,467	6,631	11,098	3,538	2,963	24.7	54,511	58,510	54,433	54,413	6,578	93.0
6 月	3,733	4,312	6,555	10,867	3,877	3,246	29.9	52,307	54,410	52,285	52,092	6,881	95.7
7 月	3,655	4,513	6,280	10,793	3,619	2,769	25.7	58,049	60,083	57,953	57,032	6,533	94.9
8 月	5,274	5,144	6,999	12,143	4,278	3,140	25.9	60,049	61,161	59,905	58,709	5,769	95.7
9 月	3,804	3,995	7,644	11,639	3,826	3,067	25.4	60,417	61,169	59,613	57,918	4,289	94.7
10 月	3,879	3,970	7,156	11,126	3,880	3,152	28.3	59,560	61,284	58,942	57,937	3,930	94.5
11 月	3,643	3,650	6,400	10,050	3,324	2,769	27.5	60,531	61,144	60,338	58,919	3,508	96.4
12 月	3,116	3,395	6,301	9,696	3,067	2,649	27.3	70,123	70,900	69,288	68,458	—	96.6

失 業 対 策 事 業 就 労 状 況 (民生労働部職業安定課調)

月 別	一 般 失 対 割 当 人 員	施 行 個 所 数	就 労 延 人 員	就 労 実 人 員	事 業 施 行 日 数	一 日 平 均 就 労 人 員
昭 和 30 年	—	—	639,315	30,649	294	2,174
昭 和 31 年	—	—	928,657	40,961	326	2,849
1 月	1,015	302	67,775	3,625	25	2,711
2 月	1,015	330	73,922	3,720	27	2,738
3 月	1,015	328	84,761	3,859	28	3,027
4 月	2,175	191	78,454	3,374	26	3,017
5 月	1,780	157	71,148	3,075	28	2,541
6 月	1,780	144	62,732	3,049	27	2,323
7 月	1,135	188	75,022	3,508	27	2,779
8 月	1,135	208	81,007	3,485	27	2,999
9 月	1,135	238	79,348	3,343	26	3,052
10 月	1,485	261	75,754	3,135	28	3,707
11 月	1,485	284	78,339	3,372	28	2,798
12 月	1,485	328	100,395	3,416	29	3,584

新 市 町

御前山村



宮下町長

1. 沿 草

この村は水戸からバスで約1時間東茨城郡の西北端に位し、東は那珂郡大宮町、西は栃木県の茂木町に、南は桂村と西茨城郡七会村に、北は那珂郡緒川村にそれぞれ隣接している。村の大部分は八溝山系の小山岳地帯に属し、断崖を洗う那珂の清流と関東の嵐山といわれる御前山に臨む誠に風光明媚なところで、昔から水戸、宇都宮、太田、大宮、烏山に通ずる交通の中心地として宿場が発達したのである。明治維新前は佐竹氏、徳川氏の所領であったが、明治以降は那珂郡と東茨城郡に編入され、昭和30年2月11日には那珂郡野口村と東茨城郡伊勢畑村が合体して御前山村が誕生し、さらに31年9月29日には那珂郡長倉村が合併して、今や面積44.30平方町、人口7,970人(男3,811、女4,159)、世帯数1,469を有する純農村として、(昭和32年11月毎月人口調査)全村民の融和協調をモットーに新しい平和郷の建設と村民の福祉増進のため力強い足どりを示している。

2. 産 業

まず農業面を見ると、農家戸数1,127、農家人口6,407人(男3,044、女3,363)、耕地面積706町(田212町、畑483町、樹園地11町)に達し、なかでも大麦221町、小麦188町、大豆74町、たばこ133町、さつまいも40町などが目立っている。(昭和32年冬、夏期農業調査)特に葉たばこの生産は多く、毎年4,000~5,000万円にのぼり、こぼうもまた年産1,000万メで、品質の優秀さは他都県でも好評を博している由。村としては新農山漁村建設計画を進めており、特に山間地帯に適する、しいたけ、くり、かき、もも、こんにやくなど特用作物の栽培を奨励して農家における現金収入の増加を図ろうとしている。また土地改良事業も交換分合を中心に全地区へ実施しており、農業生産力の増強にも大きな役割を果たしている。

次に畜産面を見ると、乳牛10頭、役牛348頭、馬88頭、めん羊60頭、山羊183頭、馬12頭、めん羊60頭、山羊183頭、豚226頭、兎462頭、にわとり6,838羽に達し、(昭和32年2月冬期調査)次第に農業の有畜化が進んでいる。村では農業協同組合の育成強化を通じて養豚、養鶏、めん羊飼育による農業経営の合理化と優良品種の普及を促進するとともに、農事研究会グループの連合化を図り、活発な研究活動を続けていることは注目すべきである。特にこの地方は養鶏が昔から非常に盛んで、鶏卵の出荷は年間約2,000万円に達し、なかでも種卵の品質は優秀で

県内各地に販売されている。

また養蚕農家は63戸、年間取繭高は2,588メであるが、たばこの栽培面積の増加に伴って減収の一途をたどっていることはまことに寒心に慄えない。

またおもな農機具の普及状況を見ると、電動機18台、石油発動機197台、ハンドトラクター1台、動力耕うん機7台、動力脱穀機218台、足踏777台、動力糶すり機35台、製粉機41台、精米機171台、精麦機13台、人口噴霧機70台、動力製縄機22台、足踏527台、動力カチペーター36台、畜力砕土機55台、畑用播種機119台、畜力すき267台に達し、年を追って農業の有畜化が進んできた。

次に工商業面を見ると、山間地帯なので見るべきものは少ないが、まず法人および常用労働者を有する個人商店数7、従業員16名、年間販売額3,660万円、常用労働者のいない個人商店数51、従業員71名、月間(6月)販売額250万円に過ぎない。(昭和31年7月商業調査)また工業数は25、従業員134名、年間製造出荷額7,255万円である。(昭和31年12月工業調査)

3. 教育文化

ここには小学校3、中学校3あつて、小学児童1,222名(男606、女615)、中学生徒574名(男314、女260)を擁しており、村としては長倉中学校(総建坪数257.38坪)を総工費670万円に建設したのははじめ、学校施設及び教材の整備拡充に努めている。国民健康保険組合も伊勢畑地区において実施していたが、きたる4月1日に全村加入の運びとなるように諸般の準備を進めている。また消防施設においても年々拡充強化に努め、特に可搬式ポンプ16台、動力(35馬力)ポンプ2台を擁しており、この地方としては優秀な実績を収めている。村としてはさらに有線放送による村民間の連絡と連絡を図る計画を持っていたが、取りあえず農村公衆電話(電話3)を開設してその便宜を図ろうとしている。

ここは旧蹟が非常に多く建保5年に親鸞上人の実弟山蓮義(入信坊)が開基した寿命寺や徳川斉昭時代の文化元年に創設した時雍館(藩校の一つで和漢の学、医学、刀槍、射砲術の研究)跡、仙石義政外16名の彰義塚、連山交易和尚の墓、弘法大師が刻んだ梵字の碑、めたと伝えられる相川敏泉、佐竹氏のとりでがあつた本城山、山王殿堂などがある。名所として知られて、県立公園御前山は、清らかな那珂川の流に沿って全山1年以上の松、杉、檜の大樹がうっそうと茂り、春はつばき、山桜にアイソ釣、夏は鮎釣、秋は紅葉やきのこ、栗拾い、鮭とり、高山植物の採集、きじ、山鳥、猿など四季を通じて美しい風致をなし、またハイキングコースとしても好適なので多くの行楽客を呼んでいる。

4. 財 政

昭和32年度一般会計歳入歳出予算

(単位円)

歳入	8,663,241	10,577,210	3,507,681	109,900	525,634	536,870	2,000	437,621	1,150,000	164,972	2,500,000	28,175,000	
歳出	554,300	7,410,158	981,635	1,703,720	12,042,220	279,857	336,575	2,075,626	95,644	168,335	223,821	1,476,693	2,200,000

の 横 顔

ましま 猿島町



猿本町長

1. 沿革

この町は猿島郡の中央部に位し、東は結城郡石下町に、西は境町、南は岩井町、北は三和村にそれぞれ隣接しており、西仁連川や諏訪川の流域に開けた肥沃で平坦な農耕地帯である。昔この地方は豊城入彦命や猿島命の治下にあつたと伝えられるが後世平将門が香掛地区を平安の都に擬して聚落の建設を行い、今でも柏畑小路、手形小路などの名が残っている由。徳川時代には大部分幕府直轄の代官領に属していたが、明治維新に葛飾県、千葉県に属し、明治8年に本県に編入された。こゝも町村合併の機運に伴って、まず昭和30年4月1日に旧生子菅、逆井の両村が合併して富里村となり、昭和31年2月1日には富里村と香掛町が合併して、東部5村、南北6.01村、面積31.85平方村、人口15,829人(男7,633、女8,196)、世帯数2,508を有する(昭和32年11月毎月人口調査)猿島町が新しく誕生し、全町民の生活向上と福祉増進を図り、平和で明るい町作りのため奮闘し進んでおり、今後の発展が大いに期待される。

2. 産業

まず農業面を見ると、農家戸数1,996、農家人口13,222人(男6,383、女6,841)、耕地面積1,802町(田643町、畑170町、樹園地89町)に達し(昭和32年8月夏期農業調査)、なかでも主なる農産物は、米15,785石、大麦16,800石、小麦8,347石、葉たばこ128,400疋、白菜154.8万疋、すいか32万個にのほり農家収入の大きな分野を占め、このところの面目を如実に示している。特に蔬菜類の栽培技術と共同出荷組合の強化によって白菜、すいかは本県の特産物となり生産技術と品質の改善に努め、東京市場でも大変好評を受けている由。次に畜産面を見ると、乳牛37頭、役牛740頭、馬107頭、めん羊27頭、山羊10頭、豚1,000頭、にわとり10,000羽を飼養しており(昭和32年2月冬期農業調査)、なかでも豚は年々増加し、子豚を400頭程度京浜方面へ出荷している。町としても養豚組合の育成強化に努めるとともに畜産振興策を講じて新農村建設計画の立案を急いでいる。

またおもな農機具の普及状況を見ると、電動機157台、発電機987台、動力脱穀機1,047台、足踏脱穀機312台、動力穀すり機211台、製粉機186台、精米麦機347台、噴霧機611台、動力製糞機69台、足踏製糞機1,096台、動力カルチャーター308台、水田中耕除草機61台、畑用播種機243台、畜力すき602台に達し(昭和32年冬期農業調査)、土地の交換分合事業の推進や農事研究グループの

育成と相まって、次第に農業電化と畜力化が進んでいる。

次に商工業面を見ると、法人および常用労働者を有する個人商店数12、従業者57名、商品販売額2億3,000万円、常用労働者のいない個人商店195、従業者371名、月間(6月)販売額1,300万円で小規模な食料品、衣服身廻品洋品雑貨の小売店が多い(昭和31年7月商業調査)。また工場数は39、従業者141名、年間製造出荷額6,135万円で(昭和31年12月工業調査)、特に目立つのは製茶業のみである。

3. 教育文化

この町には小学校4(分校2)、中学校が3校あつて小学児童2,572名(男1,268、女1,304)、中学生徒1,087名(男538、女549)に達しているが、合併後まだ日も浅いので、危険校舎の増、改築、運動場の拡張などを年次計画に従って推進しており、教育内容も次第に充実してきた。次に社会教育面においては、新生猿島町の育成のため旧地区観念の一扫を図り、町民融和の契をあげるように、公民館、男女青年団、青年学級、婦人会などを通じて、新町建設の理想の普及をはじめ、教養文化の向上と技芸および料理の改善に活発な運動を続けている。この名所、旧蹟としては、まず昭和6年6月に県から天然記念物として指定された香掛地区の大櫓がある。この櫓は目通り36尺といわれる大木で、神代の昔利根上流に住んでいた土族が、移住のため東方をめざして進んでいる途中、夜半に数多くの星が降りそそぐ方向へ行くと森厳きあまりないうつ蒼たる丘に出たが、南方には清水をたたえる沼沢に臨み、こゝを好個の移住地と定めた。その後数年の間丘の木々は降る星の毒気によって櫓1本を残して全部枯れてしまったので、この櫓を神木として一種の信仰視されるようになり、後世ここに鎮座された神明社の周囲には、その時代の土族が使用した土、石器が古墳として採掘されている由。また逆井地区には貝塚があり、生子地区の万蔵院の宝物などもある。

町長の抱負

1. 農業生産力の増強に寄与するため、道路、橋梁の完全補強を計ること。
2. 農地の集団化を強行して新式農機具の活用に努め、耕地の改良によって湿田地帯を解消し、農地利用率および集約度の高度化を図ること。
3. 青果物集荷場を各地区へ建設して、農業経営の合理化を促進すること。
4. 納税組合の強化育成を図って滞納の解消に努め、健全財政の確立を期すること。
5. 消防施設の拡充強化を図って、物的資源を確保すること。
6. 各地区ごとに劇場を建設し、町民の娯楽施設として利用させること。

4. 財政

昭和32年度一般会計歳入歳出予算

(単位円)

町税	地方交付税	公営企業及び財産収入	使用料及び手数料	国庫支出金	県支金	寄付金	繰越金	雑収入	町債	合計				
22,930,800	8,680,000	600	240,000	1,355,000	334,210	620,100	13,391	420,000	1,200,000	35,794,101				
議会費	役場費	消防費	土木費	教育費	社会及び労働施設費	保健衛生費	産業経済費	財産費	統計調査費	選挙費	公債費	諸支出金	予備費	合計
748,480	9,706,171	3,049,925	3,951,400	3,767,548	317,785	955,250	4,514,308	150,564	150,720	112,800	399,000	2,311,843	500,000	35,794,101